

市長・市議会正副議長へ 要望書提出

8月4日は市長、8月11日には正副議長に対し、近藤理事長、中条常務理事、太田垣事務局長が全シ協決議の『要望書』を手渡しました。会談中、公共からの仕事の受注増のお願いや、補助金等の確保、さらに昨年に引き続き、令和5年10月導入予定の『インボイス制度』が、センター運営に大きな影響を及ぼすため、事業運営が安定的に行えるよう措置をお願いしました。



石井市長(右)と理事長、常務理事の会談



草加議長、川村副議長との会談

8月末の 事業実績

※()は昨年比

- 会員数：2,190人(-34人)
- 事業高累計 (含 派遣)：304,776千円(+22,466千円)
- 就業実人員 (含 派遣)：1,622人(-35人)

コロナ禍でできる準備

新型コロナウイルスによりセンターは大きな打撃を受けています。

ご承知のように令和2年度の事業高は、契約終了や時間短縮などにより元年度比8千600万円(-13%)の減収です。これまでにコロナにより増えた契約は市からの広報紙の配布と、あるクリニックからの依頼(ワクチン接種希望者をパソコンに登録)の2種類だけでした。

センターとしては事業高で痛手を受けていますが、コロナが収束した時に、すぐに対応できる準備も必要です。それは、受注が来た時に、いつでも会員さんが仕事に就ける体制にあるということです。

家にいる時間が増えると、どうしても筋力の低下を招きます。また、気力も薄らいでいきます。来るコロナ収束時に向けて、我々のなすべきことは、体力作り、または体力維持のための運動です。筋肉は何歳になっても再生するといわれています。筋力が落ちたなと思われたら、明日からNHKのラジオ体操(6:30から)をテレビの前で始めてみましょう。実際にしてみると自分の筋力の衰えが分かり、けっこうな運動になります。

また、これまで月報で掲載している『コロナ禍での過ごし方』も参考に、コロナの収束時に対応できる体力を今から養ってください。それが今できる活動なのです。笑顔でまた仲間に出会える日のために。

(事務局)

センター 無事故 継続日数

- 就業中：8日
- 就業途上他：130日
(2021年8月31日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

★健康『新型コロナ感染症』

ワクチン接種が済んでも、「100%感染しない」ということはありません。また、人に感染させては大変です。引続き感染拡大予防に十分な注意を。発熱や味覚異常、PCR検査を受けたら、必ずセンターに連絡を！

★安全

4月から8月まで、7件もの事故が発生！！
万全の注意で事故を起こさないように。

- ・バイクと接触し左足首骨折、頭部打撲
- ・自転車で転倒し、肩や顔面負傷
- ・スチームクリーナー誤操作で上腕部火傷
- ・足を滑らせ頭部裂傷
- ・カートを移動中転倒し、わき腹負傷
- ・屋内の就業中に熱中症
- ・防護シートを使用せず、エンジン付き刈払い機で窓ガラスに傷をつけ弁償など・・・

●台風・豪雨への対応！

センターの安全就業基準では、就業途上や就業中に身の危険を感じた時は、ご自身の判断で就業に「行く・行かない」、「する・しない」を決めるとあります。『自分の身は、自分で守る！』自然災害に対し適切な判断を。 (安全・適正委員会)

『広報紙配布中』の私の心掛け

M会員(瓦木地区)

私は、広報紙の配布中、地域の方々に笑顔と元気な声で挨拶を届けることを心がけています。

登下校中の児童達には「おはよう」「行ってらっしゃい」、児童達から「おはようございます」「行ってきます」が返ってくると内心「やったー」と喜びが満ちあふれます。お年寄りにも挨拶をすると「私のような年寄りに声を掛けてもらって、ありがとう」と返ってきました。玄関先で会った時に挨拶すると「ご苦労様」「お疲れ様」と返してもらえ、「待っていましたよ」とも。こんな言葉や笑顔に触れると、体力の続く間は『広報紙配布』を続けようと思っています。

コロナ禍でマスク越しですが、マスクの中の笑顔は通じていると信じています。

コロナ禍での過ごし方



畑は三密とは無縁！！
季節の野菜を堪能しています

Y会員(塩瀬・山口地区)

●今はコロナ禍で繁華街に行くこともなく、もっぱらの巣ごもり生活なので自宅から自転車で10分程のところにある畑を借りました。

●広さは、塩瀬・山口地区ならではの、身に余る(体力に余る?)約50坪強あり、イチゴとサツマイモそして季節ごとの野菜を20畝程作っています。私の他にも11名が大小様々な広さの畑を利用しておられ、この方々が私の畑先生です。

●畑は三密とは無縁で、『キョウイクとキョウヨウ(※今日、行くところがあること。今日、用事があること。』として気晴らしにはもってこいです。また、作った野菜を家族でいただく幸せを感じています。

●今は、夏野菜もほぼ終わり「草取り」に励んでいます。畑作業の多くは「草取り」であることを思い知り、農家の方々のご苦労をこの年になって初めて体験しているところです。

●そこで、来年の春には草取りから少しでも解放されるよう、畑の一角にレンゲを咲かそうと思っています。9月に蒔く種の準備もできました。子どもの頃に見た、きれいなレンゲ畑が懐かしいです。